

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和3年10月号

思い出いっぱいの修学旅行 6年生

修学旅行最初の見学地、電気バスに乗って到着した黒部ダムは、予想外の雪模様。期待していた絶景は、降雪で霞んでしまいよく見えませんでした。寒さに震えながら堰堤から下を覗くと、真下に吸い込まれるような感覚になりました。安曇野大王わさび農場で昼食をとり、わさび入りソフトクリームもいただきました。観光客が戻り始めた松本城では、混雑緩和のため人数制限を行っていたので、入場まで



に少し待ち時間がありました。急な階段を上って天守閣の最上階から松本の街や北アルプスを眺め、殿様気分になりました。薄暗くなってきた頃、諏訪湖の観光汽船に乗り込み、秋の夕暮れと諏訪湖に渡る風を感じながら、打ち上げ花火を待ちました。真っ暗な湖面に向けてカウントダウンを始めると、たくさんの花火がすぐ目の前で打ち上がり、船内に歓声が広がりました。アンコールにも応えていただきました。この日の宿泊は、諏訪市の RAKO 華乃井ホテル。感染防止のため温泉に入ることは控えましたが、多くのメニューがあった夕食や部屋で過ごす時間をとても楽しんでいました。

2日目は、高速道路を通過して山梨県へ。車窓からの富士山はすでに冠雪していて、美しい姿を見せていましたが、近づくにつれて雲が多くなり隠れてしまいました。リニア見学センターでは、リニア新幹線の実験車両が通過するのを間近で見ることができました。車両がセンターに近づくにつれてゴーッと音が聞こえ始め、時速 500 ㎞で走る車両は、目の前を一瞬で通り過ぎていきました。どんな仕組みで走行するのか、実験装置を使いながらの分かりやすい説明で納得することができました。その後、甲州名物熱々のほうとうをいただき、子どもたちが最も楽しみにしていた富士急ハイランドに向かいました。平日のせいか随分すいていて、お目当てのアトラクションをたくさん体験することができたようです。バスの中でも、自分たちの考えたクイズやゲームを楽しみ、友だちを気遣った思いやりのある行動が随所で見られました。たくさんの方々を支えられ実施できた修学旅行。感謝の気持ちとともに大切な思い出として、心の中にしっかりと持ち続けてほしいと思います。



よわねをはかずに歩ききったよ！～1年生遠足～



8日に1年生遠足がありました。目指すは東御中央公園です。朝から日差しが強く、1年生には大変かなと心配しましたが、普段はなかなかじっくり見たことがない景色に興味津々、笑顔一杯でした。道路横断時は先生方と丁寧に安全確認をし、できるだけ道路の端の方を歩くことも心がけました。「～ちゃん大丈夫？頑張ってる！」と励まし合ったり「～君間が空いてるよ！」と注意し合ったりする姿に「みんな成長したなあ。」と感心しました。

いよいよ一番楽しみにしていたお弁当の時間です。お弁当箱の蓋を開ける直前のドキドキワクワクした表情と蓋を開けた瞬間の輝く笑顔が可愛らしかったです。いつも思います。この姿をお家の方に見せてあげられたらなあ…。と。そして始まりました！「僕のお弁当はねえ、〇〇入りだよ！」「私のデザートは◇◇だよ！」とお弁当を見せ合いながらの大白慢大会。朝からお弁当や持ち物の準備をしていただいた保護者の皆様本当にありがとうございました。

中央公園では生活科の学習で使うどんぐりなどを探した後、遊具でたくさん遊びました。「こんなに体力を使って大丈夫かな…。」と心配しましたが、帰り道も弱音をはかず頑張りました。最後はそんな子どもたちへのご褒美、ソフトクリームです。暑い中頑張ってきた子どもたちは冷たくて甘いソフトクリームをほおばりながら大満足でした！



【ハーベストさんへのお礼の手紙より】

☆すごくあまいあまいソフトクリームありがとうございます。もっと食べたいです。食べたあと、すごくおいみちをあるけました。

☆えんそくのときつかれてるときソフトクリームを食べさせてくれてありがとうございました。またいきたいです。

マナーをまもっておもいっきいたのしもう！～2年生活科遠足～



21日に2年生は懐古園に生活科遠足に出かけました。今月中旬からの急激な冷え込みに「当日は寒くないかな…。」と心配していましたが、この日はバス内



から富士山が見えるほどの絶好のお出かけ日和でした。懐古園では「もう意外と赤くなってる！」と紅葉の始まりに気づく子や人力車を引くお兄さんに「いつの時代からあるの？」と尋ねたりする子も見られました。子どもたちが驚いたのは小諸城跡の大きな石垣で、「す

ごーい！江戸時代みたいだ！」と喜んでいました。お待ちかねの乗り物タイムでは迫力満点のツインドラゴンが大人気。たくさんの子が乗っていましたが、歓声をキャーキャー上げる子もいれば唇を噛みしめ下を向いてずっと目をつぶっている子もいて思わず笑ってしまいました。コーヒーカップに乗って「目が回った…」という子や足が届かずペダルが下に行ったときにはこぐことができないスワンサイクルに乗り「つかれた～」とグッタリしている子も見られました。帰りは一人一人切符を購入し、電車に乗る体験もしました。愛情が詰まったお弁当を食べ、1日思う存分楽しめました。

【2年生の日記より】

〇ツインドラゴンの上から下にさがるとき、おなかがくすぐったくなりました。楽しかったです。またみんなと行きたいです。帰りは電車にのりました。のったことがなかったのでわくわくしました。

〇さいごにのったコーヒーカップは気もちわるくなっちゃったけど、そのあとおべんとうを食べたらすこしよくなりました。そのあとで電車にのってちゃんときっぷを買って、のれてちゃんと帰れてよかったです。晴れてよかったです。

まるでドラマみたいな瞬間～3年社会見学～



12日は3年生社会見学でした。新型コロナウイルスの影響で延期せざるを得なくなっていたのですが、何とか空いている日に市のバスをお願いして見学が実現しました。目的地は東御消防署とツルヤ和店です。3年生は社会の時間に、学校内の消防設備について校舎をじっくり回って調べたり、消防署の仕事について教科書や動画を使って学習したりしたばかりだったので、「実際に自分の目で見られる」というこの日が待ち遠しくて仕方がなかったようです。スーパーについても学習したばかりで、普段家族と一緒に買い物をして

ていた場所へ今日はあらためて「社会見学」ということで子どもたちは気合い十分でした。

東御市消防署では、「消防車」にも「タンク車」「水そう車」「ポンプ車」など様々な車があることにびっくり！水そう車には10000Lも水が入ることや防火服を着て空気呼吸器を背負うと重さが30kg近くになることにまたびっくり！そして極めつけは…。子どもたちにクイズ形式で楽しく説明してくれていたYさんに緊急出動命令が！すぐに走り出したYさんは、ほんの20秒ほどで現場を地図で確認し、水色の服に着替え、救急車で出動して行きました。Yさんを見送る子どもたちは「…。(驚きで声にならず)」まるでドラマのような瞬間を目の当たりにすると、「かっこいいなあ。消防士さんて！」と憧れの眼差しでした。

ツルヤ和店では、色合いや取りやすさまで考えた陳列をしていることや買う人の用途を考えた切り方をしてお肉を提供していることなどを詳しく店長さんから話してもらいました。自分たちの安全を守ってくれたり食卓を支えてくれたりしている地域の方々との心が近づくような社会見学になりました。



【3年生社会見学新聞より】

☆3人のきゅう急たいの人がきゅう急車に乗って行きました。きゅう急車が出動するのを見るのが初めてだったのですごいと思いました。

☆ツルヤの店員さんは「しょう味きげんが終わりそうな商品をならべかえて、お客さんがきげんが切れてしまったものを買わないようにしています。」と言っていました。お店でよく見るけど、何をしているか気になっていて、そういうことをやっているんだなああと初めて知りました。

日本を支える自動車づくりを学ぶ～5年リモート社会見学～

11日、5年生は自動車製造メーカーのリモート見学を行いました。社会科で日本の自動車づくりについて事前に学習してありましたが、リモートとはいえ、実際にプレス、溶接、組み立て、塗装などの作業を経て実際に自動車が出来上がっていく映像はなかなかの迫力でした。1台の自動車におよそ6000種類の部品が約3万個使われていることや製造された自動車の9割が海外へ輸出されていることを知り、日本の技術力の高さや自動車工業がこの国を支えていることを実感できました。



説明の中で5年生が一番驚いたことは一台一台お客さ

んの要望に合わせて塗装をすることです。「えー、同じ色で塗る方が楽し早いのに。」という声が聞かれました。多くの仕事をロボットが手際よくやっている様子がほとんどでしたが、完成後の最終検査やロボットたちのプログラミングは人間にだけしかできないことを教えてもらい「やっぱり人間てすごいんだなあ。」とご満悦?でした。働く方々の「乗る人たちのことを考えて安心・安全な自動車をつくりたい」という願いも知ることができました。

今回のリモート見学で「もっともっと自動車産業について学習を深めたい!」と感じた子や「将来は自分も自動車づくりに携わる仕事をしたい!」と思った子がいるかもしれません。

【5年生の『その日のふり返り』より】

☆今日僕は、5・6時間目のリモート社会見学が一番心に残りました。一番驚いたことが、しき地が広くて、4000人くらいの方が働いていることです。効率よく仕事をしないとラインを止めさせるようなことになってしまい、他の人すべてに影響が出てしまうと思ったからです。やり慣れている人たちだからこそできることだと思いました。

☆自動車づくりにかかわっている人たちが、乗る人の気持ちを考えながら1台1台でいねいに自動車づくりをしていることや、乗る人の安全をととても大切に考えていることがよくわかりました。ほくも将来、人のことを考えて何かをつくるような仕事をしたいなあと思いました。

こんな使い方にも挑戦!～4年生一人1台タブレット～

教室で始まったこの授業、さて何の教科だと思いませんか?実は「体育」なのです。これまでも体育ではタブレットを活用して自分たちの様子を撮影したり、ベースボール型ゲームの作戦を立てたりしてきました。今回4年生は鉄棒の学習カードの代わりとして活用することやマット運動の導入時にタブレッ



トを活用することに取り組んでいます。この日、松組では体育館に行く前に体操選手の前転や後転の師範画像を視聴し、美しく技を成功させるためのポイントを考えました。映像を見た子どもたちは「この手の角度が大切なんだね。」とその場で真似していました。竹組の子どもたちは、鉄棒で挑戦したい技を決め、その技を成功させるためにどんなことに気をつけなければいいか考え、電子ホワイトボードソフトを

使って書き込みました。どちらのクラスもタブレットを使ってしっかりその日の体育の授業のめあてと課題を確認してから体育館や校庭に出かけていきました。4年生は書写でもタブレットを活用し、子どもたちが一角一角ゆっくと丁寧に書くということが目で見てわかるようにしたそうです。4年生に限らず、どの学年も「どうしたらタブレットを有効に使えるのだろう？」と日々いろいろな使い方にチャレンジしています。



体操選手の開脚前転を研究中

1年8か月ぶりの和小メンバー全員集合！～校長講話～

今年度、校長講話はもちろん、始業式も終業式なども全てリモートで行ってきましたが、新型コロナウイルス感染警戒レベルが下がったので、体育館に全校児童が集まり、校長講話を行いました。全校が体育館に集まるのは、何と！1年8か月ぶりです。朝から子どもたちも、私たち職員も何となく緊張気味でした。久しぶりだったので、決められている体育館への入場経路を朝のうちにしっかり確認して時間に間に合うように入場しました。講話では最初に校長先生から問題が出されました。

- ①生き物ですが動物や虫ではない。
- ②空を飛ぶことができる。
- ③日本人より早く宇宙に行った。
- ④人の役に立つ。

正解は「クモ」です。クモは頭とお腹しかなく、足が8本であることやクモの子は凧のように飛ぶこと、50年前に実験のため16匹のクモが宇宙旅行をしたことなどが紹介されると子どもたちは目を輝かせて聞いていました。クモが人間のためにとっても役立っていることや「なぜクモはクモの巣に自分がかっつかないのか」も教えていただきました。最後に、

ノーベル物理学賞を受賞した真鍋先生が幼い頃から空に関心をもって気候について調べていたことを紹介しながら「身の回りにはいろんな自然のものがあ、知らないことがたくさんあるので『これは何かな？』『どうして？』と思ったことをぜひ調べてみよう。ゲームも楽しいけど、周りのことにも興味を持



とう。」というメッセージを送ってくれました。久しぶりの全校児童を前にしての講話で校長先生もとても嬉しかったそうですが、緊張したそうです。現在は実際に対面しなくても何でもリモートでできるようになっていますがやっぱり実際にみんなで集まって話を聞くことってとってもいいなあと感じました。



管楽器交歓演奏会 サントミュージゼ大ホール



2年ぶりに交歓演奏会が開催され、管楽器部の5・6年生が堂々の演奏を発表しました。ステージは入れ替え制で、観客は該当校の保護者のみ。そんな中でも、普段の練習の成果を存分に発揮しました。練習環境が制限される中、よくそこまでがんばった、素晴らしい！と感動しました。どんな状況にあっても、それを乗り越え、やり遂げる気持ちが育っていることに感謝です。

和んばく見守り隊連絡会



各団体から寄付をしていただき、見守り隊の新しいベストも購入します！

13日に和地区の区長会、地域づくりの会、安全協会等の代表の皆様と見守り隊の方々に集まっていたき連絡会を行いました。今年度も皆様には、通学路の様々な場所で登下校の安全確保をしていただいたり、自家用車に見守り隊のプレートを貼ってのパトロールや商店の巡視、挨拶運動等を行って児童の安全を守っていただいたりしました。参加された皆様から「きちんと自分の目で右・左・右を確認できるよう学校や家庭でもぜひ指導してもらいたい。」という声をいただきました。地域、学校、家庭の三本の矢で和地区の子どもたちが一人も事故に遭うことがないように守っていきたくです。見守り活動に「出来ることを無理なく出来るときに」協力していただける方はぜひ、学校までご連絡ください。

11月の予定

- 1日(月) 安全点検の日
- 2日(火) 学校保健委員会 PTA代議員会
- 3日(水) 文化の日
- 4日(木) なかよし旬間(～19日)
森林教室4年 検尿2次 児童会
- 5日(金) 豆たたき2年
- 8日(月) 学校評議員会②
- 9日(火) 歯科検診5・6年
- 10日(水) 社会科見学3年 スクールカウンセラー来校日
東御市人権同和教育研修会
- 11日(木) 人権同和教育参観日 5時間授業
PTA講演会、リサイクルデー
学校運営委員会
- 12日(金) 生活科授業研究会 5時間授業
- 15日(月) 記念館清掃5年
- 17日(水) 校長講話 卒業記念写真撮影
- 18日(木) なかよし祭り 東中区授業公開
- 19日(金) 来入児検査・保護者会 4時間授業
- 22日(月) 秋の読書旬間(～12/3)
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 24日(水) 人権センター見学4年 スクールカウンセラー来校日
- 25日(木) 児童会
- 26日(金) 歯科検診3・4年

先日、新型コロナウイルスの感染拡大により、休校になったり行事が延期や中止になったりして、子どもたちの心身に影響が出始めているとの報道がありました。今回の学校だよりでは、行事や体験学習をできる形でできるだけ実施してきた本校の取組を紹介しました。お陰様で、本県の感染レベルが落ち着き、都市部のような事態を避けることができた結果です。引き続き、感染拡大を食い止め、医療をはじめ私たちの生活を支えてくださっている方々への感謝を忘れずにいたいと思います。この時、この学年、この仲間とすべきことができることは、未来に生きる子どもたちにとって欠くことのできない貴重な学びの経験です。

文責・作成：校長 教頭